

2020年3月10日

各位

会社名 マクセルホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長 勝田善春
 (コード番号: 6810 東証第一部)
 問合せ先 ブランド戦略・広報 IR 部
 (TEL. 03-5715-7061)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の市場環境及び業績動向を踏まえ、2020年1月30日に公表した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期連結業績予想を以下のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 149,000	百万円 2,000	百万円 1,700	円 銭 32.92
今回修正予想 (B)	145,000	△700	△4,500	△87.14
増減額 (B-A)	△4,000	△2,700	△6,200	-
増減率 (%)	△2.7	-	-	-
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	150,584	5,424	5,311	100.51

2. 修正の理由

2020年3月期において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、民生用リチウムイオン電池、プロジェクター、理美容製品等の当社中国工場の操業度の低下、各事業における中国からの製品・部品の調達停滞、中国向け販売の減少など当社の事業に大きな影響が出ております。このため売上高及び営業利益について下方修正しております。民生用リチウムイオン電池については、前回2020年1月30日に公表した業績予想の修正では、当初計画比で増収・増益の方向となる見込みとしておりましたが、この新型コロナウイルス感染症の影響で前回の見通しから下方修正をせざるを得ない状況となっております。

さらには、民生用リチウムイオン電池などの事業計画見直しに伴う生産設備等の処分費用、昨今の株価下落に伴う有価証券の減損といった特別損失に加え、個々のグループ会社の事業損益の見通しから、一部繰延税金資産の回収可能性が低下している会社が存在するため、取り崩し(法人税等での費用計上)等も見込まれる状況となっており、新型コロナウイルス感染症の影響も含め親会社に帰属する当期純利益についても下方修正しております。

新型コロナウイルス感染症の今後の影響など、当社として正確な予想を行うことが非常に困難な状況となっております。引き続き市場環境の精査を行い、新たに当社の業績に影響を与える事象が判明した場合には、直ちに公表する予定です。

【通期セグメント別業績予想】

単位：百万円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回予想	今回予想	前回予想
エネルギー	37,700	39,400	1,800	2,800
産業用部材料	55,100	55,300	700	1,100
電器・コンシューマー	52,200	54,300	△3,200	△1,900
合計	145,000	149,000	△700	2,000

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上